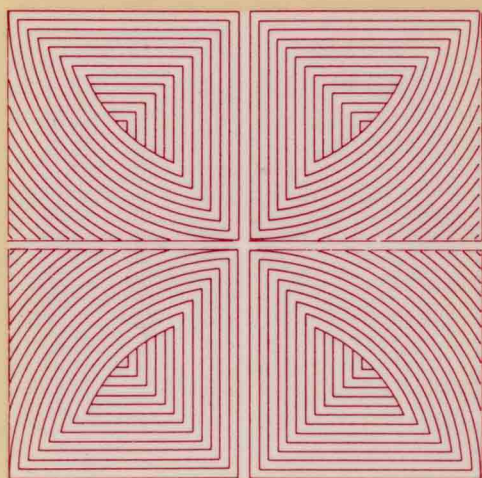


新しい方式の常用単語集
中国語関連語辞典

香坂順一編著



新しい方式の常 中国語関連語辞典

香坂順一編著

光生館

新しい方式の常用単語集
中国語関連語辞典

1988年 7 月20日 初版第 1 刷発行

1989年 9 月 1 日 第 2 刷発行

編 著 者——香坂順一

発 行 者——中川廣一

発 行 所——株式会社 光生館

〒112 東京都文京区大塚 2-1-17

振替東京 4-130621 TEL 943-3335(代)

印 刷——凸版印刷株式会社

製 本——佐抜製本株式会社

(著者の承認をえて検印を省略しました)

©Junichi Kosaka, 1988

Printed in Japan

法律で認められた場合を除き、本書の内容の一部または全部を無断で複写複製（コピー）することは著作権法違反となりますからご注意ください。

ISBN4-332-80013-3

「関連語」とは ——まえがきに代えて——

- (1) 単語は文を組み立てるばあい一つの単位をなしている言語的要素である。言語的要素といっても、一つの概念あるいは機能をもつものでなければならず、これはより下位の、たとえば音素とか語素とかいうものであってはならない。

単語は文の組成要素であるから、一般的にいて、一定の限度内で代替が許される。たとえば、

犬が走る。

この「犬」は、

人が走る。

馬が走る。

自動車が走る。

というように「人」「馬」「自動車」に代えることができる。また、「走る」は、

犬がねむる。

人がねむる。

馬がねむる。

というように「ねむる」でおきかえることもできる。だが、もし、

自動車がねむる。

としたらどうであろうか。この表す意味はおかしい。しかしおかしいとわかることは意味がとれるからである。特殊な場を想定すれば、この意味を通用させることができるかも知れない。ここで「意味がとれる」ということは、文法的に成立しうるということであり、「特殊な

場を想定する」ということは、こういう表現は一般的・常識的ではないということである。したがって、ある表現が文法的に成立するということと、その意味が一般的に受容されるということとは別なことなのである。

- (2) 文法上成立し、一般的・常識的な意味を表出することができるということは、単語の内部に一定の意味があり、その意味は他の単語の意味との間に恒常的に一定の関係をもっていること、つまり一定の慣習的な結びつきがあるということを意味する。それなら、この「慣習的な結びつき」とはどういうものであろうか。

私たちは、言語生活の中で、Aという単語について、これと比較的恒常的に結ぶ他の単語の存在を認めることができる。たとえば、「辞典」という単語があれば、その辞典がいかなるものかをよく区別していうことがある。つまり辞典の「類」を私たちは考えがちである。

中日辞典 日中辞典 英和辞典 和英辞典 国語辞典

これらは、辞典がいかなる言語にを内容とし、それがどう関係しているものであるかを明らかにしようとするものであり、また、

厚い辞典 薄い辞典 大きな辞典 小さな辞典
 便利な辞典 役にたつ辞典

これらは辞典の性質・状態についていっているものであり、さらに

辞典をひく

辞典を備える。

辞典を買う

辞典を編集する

辞典で調べる

これらは、辞典について私たちが行なう日常的な動作・行為とむすびつけての表現である。

- (3) こうみてくると、単語というものは、文法的に処理したばあい、独立した単位として抽出できるものではあるが、他の単語との間には一定の「親疏」の関係をもっているということが明らかになるであろう。さらに例を示すと、

A	B
ごはん	食べる
菓子	つくる
パン	おいしい
料理	まずい

このばあい、A群の単語はB群の単語と比較的恒常的に結んで用いるから、「親」なる関係にあると考えられる。しかし、

A	B
時計	歩く
辞典	飛ぶ
机	暑い
ノート	寒い

このばあいは、A群の単語がB群の単語と結ぶことは、一般的にいうてまずないといってもよい。つまり、これらの単語は「疏」なる関係にあるということができよう。

「親疏」の関係は、すべての言語がまったくおなじというわけではない。生活文化や社会のあり方など多くの要因によって差異があるのは当然である。

- (4) 語と語の間に存在する親疏関係は、すべての言語について同一のものではないが、相当大きな部分は一致している。とくに日常用語についてはその面が大きい。たとえば「飯」という単語は、

めしをつくる。

めしをたべる。

めしを準備する。

めしをもる。

めしができた。

めしがうまい。

めしがまずい。

めしが足りない。

めしがあまった。

かたいめし。

やわらかいめし。

このように一定の動詞や形容詞と親密な関係にあり、これは日本語、中国語共通のものであろう。一方、「書く」「走る」「動く」「美しい」「おもしろい」という動詞・形容詞になると、「めし」という名詞は、特殊な場を設定しなければ結びつくことはない。一つの単語が他の単語との間に一定の親疏関係を共有していることは否定できない。

- (5) それなら、この親疏関係のひろがりはどうなっているのだろうか。「めしをつくる」といったばあい、「を」という助詞によって「めし」と「つくる」が結びつけられている。「を」だけによってむすびつけられているという点からみて、この結びつきは一回かぎりのものであり、一次的結合であるということが出来る。ところが、

はして飯をたべる。

という文を考えてみると、まず「はし」と「めし」は関係の深い単語であり、親近な関係にある。「めし」と「鉛筆」とか「筆」とかの関係にくらべたら、ずっとその関係は密であり、いわゆる「関連単語」とみられるものである。したがって、これらは、同じはなしの場でもに登場してくることが多い。

言語教育において、よく「関連単語」をまとめて教えるのは、この点を重視したところから来るもので、人間の類推による記憶を利用し

ようにしたものである。

「はしで飯をたべる」といったばあい、

はし(で)→たべる

飯(を)→たべる

という二つの「関連単語」によって構成されているから、これらは、ともに一般の人の類推可能な範囲に入る(はしで食事をする習慣のある民族の間では)。しかし、これを「はしで飯をたべる」とするならば、この結合は二つの助詞(「で」「を」)を含んでいるから二次結合ということになる。

- (6) 二次結合の「はしで飯をたべる」という場合には、三つの単語(実詞)が相互に直接関連する範囲内にとどまるから、類推上あまり問題がない。しかし、つぎのような例はどうであろうか。

目に目薬をたらす。

「目」と「目薬」と「たらす」とは、一応「関連単語」とみてよい。しかし、「目」と「たらす」を「関連単語」と認めることは、「目薬」と「たらす」よりもいささか「疏」なものと認めざるをえないか。また、

節約で物価を安定させる。

といったばあいにも、「物価」と「安定」は「関連単語」であるが、「節約」と「物価」、「節約」と「安定」とともに「関連単語」としての範囲からはみ出ることになる。このことは、二次結合はかならずしも関連する単語で結合されるものでないことを表している。

- (7) したがって、「関連単語」の範囲は一般に一次結合にとどめておいた方が無難であるということになる。しかし、これには例外的なものもある。たとえば、

ナイフとフォークとスプーン

というように並列関係で結合したばあいである。これらは「食べる道

具」として関連性をもっており、一つの類をなしている。しかし、これを別な面で関連している単語との関係で展開すると、その結合の対象にはちがったものが出てくる。たとえば、

ナイフ	{	(で) きる
		(で) むく
フォーク	{	(で) さす
		(で) たべる
スプーン	{	(で) すくう
		(で) のむ

「ナイフ」との「関連単語」「きる」「むく」は「フォーク」との間に「関連単語」の関係をつくらず、「フォーク」と「関連単語」「さす」「たべる」は「スプーン」との「関連単語」「すくう」「のむ」との間に「関連単語」の関係をつくらない。

このことは、明らかに関連する単語は、類によってかならずしも同一性をもっていないことを示している。

(8) ここで語の「関連」ということをさらに一步すすめて考えておかなければならなくなる。

「ナイフ」「フォーク」「スプーン」はたしかに「関連単語」である。ともにものを口に入れるときの道具としての類に属しているからである。この属し方はいわば横のひろがりにおいての関係である。ところが、「ナイフ」と「きる」、「フォーク」と「さす」、「スプーン」と「すくう」との関係は縦の結びつきの関係である。「きる」「さす」「すくう」は手の動作であるという点で関連性をもち、一つの類をなしている。したがって、「きる」について考えてみると、

刀	}	(で) きる
ナイフ		
はさみ		
のこぎり		
かま (鎌)		

このように多くの単語と結合する。

結合の横縦の関係はつぎのように表示することができよう。

A	A'	A''
ナイフ	フォーク	スプーン
B	B'	B''
きる	さす	すくう

$A + B$ $A' + B'$ $A'' + B''$ は一般に成立するが、

$A + B''$ $A' + B''$ $A'' + B$ ……などは、一般に成立すること

は少い。

- (9) 以上は名詞と動詞との関係でみてきたが、名詞と形容詞・形容動詞との間にも、このような関係は成立する。たとえば、

態度	{	(が) よい
		(が) わるい
		(が) りっぱだ
		(が) おだやかだ
		(が) やわらかい
		(が) かたい

景色	{	(が) 美しい・よい
		(が) わるい
		(が) すばらしい
		(が) みごとだ

これも、まえに説明したように縦の関係で展開したものである。もし、これを横の関係にし、「態度」を「品行」とし、「景色」を「森林」としたならば、結合する「関連単語」はいくつかの点での変化が表れてくるであろう。

- (10) 一つの語を軸にして、これと関連する語を包括した一つの大きな単位として、ことばを学習していく方法を試みる材料として、この稿を起したのであるが、このばあい軸となる語にどういう範囲に属しているものを選ぶかという問題がおきる。

私たちが、なにか内容のあることをはなすばあい、つねに一つの題目(主語・主題)を対象とする。たとえば、「景色がよい」といったばあい、「景色」を題目にしているわけであり、「犬が走っている」といったばあいには、「犬」を題目にしている。題目は表出されていないばあいであっても、それははなしの場合あるいは相互理解があつての「省略」であるばあいが多い。題目に選ばれるものは、かならずしも具体的な事物であるとはかぎらない。抽象的なものであるばあいもある。しかし、題目が述べる対象となっている以上、それは私たちの頭の中で一つの「事物・人」として認識されているものでなければならない。「事物・人」として認識されるものは、文法的な範疇では、それは名詞(体言)に属する。私たちは名詞(体言)を題目・対象としてはなしを展開していく。この点から関連する語をひき出す軸となる語としては、まず名詞(体言)を選ぶことが適当であるということになる。

またこれらをなにかの関連において行なうばあいが多い。このばあいにも、それらの対象になるものは「事物・人」に関係をもってくる（このばあい時間的・空間的なものをも含めて）。したがって「事物・人」を軸にすることによって、これの「関連単語」をひき出すことが可能になってくる。

中国人は言語を分析して、「実字」と「虚字」に分けた。中世において、「実字」を現在の文法でいう名詞に限定し、形容詞・動詞すらも「虚字」の中に含めたのは、実字＝名詞がことばの核をなすという考え方をもっていたからである。ことばは、実字＝名詞を軸にして展開されるものという考え方をした中国人の言語に対する観察力は鋭いものと認めなければならない。

- (11) 単語と単語の恒常的な結びつきは、実は私たちが幼い時からの言語生活を通じて会得されたものなのである。

私たちが言語（外国語）を学ぶときも、この方法によることが効率的である。「めし」という単語は「食べる」という「関連単語」とつねに結合する。したがって、「めし」を孤立的に記憶するのではなく、「たべる」という動詞と関連させておぼえておく。「景色」もそれだけを学ぶことをせず、「美しい」と関連させておく。このようにすることによってはじめて、私たちは自由にことばを運用することができるわけである。

単語と恒常的な結びつきをもつ他の単語と切りはなすことなく学習し記憶しておく。それには、単語と一次結合の頻度の高いものを同時に含んだ簡単な例文を必要とする。この稿は、そういう目的によってかかれたものであるが、この稿では一次結合文にとどまらず、必要なばあいには、それ以上の結合のものも含めておいた。なお、一次結合、二次結合については、助詞だけがその根拠になるわけではない。

目 次

関連語とは——まえがきに代えて——	(1)
1. 天象	1
あめ(1)／かぜ(1)／くうき(2)／くも(2)／けむり(2)／こおり(3)／たいよう・ひ(3)／つき(4)／そら・てん(4)／てんき(4)／ひ(5)／みず(5)／ゆき(6)	
2. 土地・地・地面	7
いけ(7)／うみ(7)／かわ(8)／さか(9)／ダム(9)／とち(9)／みずうみ(10)／みぞ(10)／やま(11)	
3. 時間	11
あき(12)／あさ・ばん(12)／いご・そのご(13)／いぜん(13)／いま(14)／きせつ(15)／きょう・きのう・あした(15)／ごぜん・ごご(16)／ことし(17)／さいご(17)／さいしょ(18)／じかん(18)／じかん(19)／じだい(20)／しゅう(21)／しょうらい・みらい(21)／しんねん・しょうがつ(22)／ちかごろ(23)／つき(23)／とき(24)／とし・ねん(24)／なつ(25)／なつやすみ(26)／はる(26)／ひ(27)／ひま(27)／ひる・よる(28)／ふゆ(28)／ふむやすみ(29)／むかし・かこ(29)／よあけ・ゆうぐれ・ゆうがた(30)	
4. 理科現象	31
あじ(31)／いろ(32)／おと(33)／おんど(33)／かげ・こかげ(34)／こえ(34)／じょうき(35)／でんき(35)／におい(36)／ひかり(36)	
5. 鉱物	37
いし(37)／ガス(38)／さび(38)／すな(38)／せきたん(39)／せきゆ(39)／つつ(40)／てつ(40)／どろ(40)／ほこり(41)	
6. 動物	42
いぬ(42)／うま(42)／かえる(43)／かに(44)／から(44)／かわ・ひふ・ひかく(45)／け(45)／さかな(46)／しっぽ(46)／す(47)／つの(47)／つばき・はね(48)／とり(48)／ねずみ(48)／ぶた(49)／へび(49)／むし(50)	
7. 植物	50
き(50)／くさ(52)／さくもつ(52)／たね(53)／ね(53)／は(54)／はな(54)／め(55)	

8. 食物・嗜好品.....55

あさごはん・ひるごはん・ばんごはん(55)／あぶら(56)／うどん・めん(56)／かし・
 ケーキ(57)／かゆ(57)／ぎゅうにゅう・ミルク(58)／くだもの(58)／こめ(59)／さけ(60)／
 さとう(61)／しお(61)／しょうゆ(62)／スープ・しる(62)／たばこ(62)／たべもの(63)／た
 まご(64)／ちゃ(64)／にく(65)／パン(66)／みそ(67)／めし・ごはん(67)／やさい(68)／ゆ・
 おゆ(69)

9. 服飾.....70

いふく・きもの(70)／おび・ベルト(71)／くつ(71)／くつした(72)／ズボン(73)／そで
 (73)／タオル(74)／ぬの・きれ(74)／ぼうし(75)／ポケット(75)／ボタン(76)

10. 家屋・公共場所.....76

いえ(76)／いど(77)／うんどうじょう(77)／えいがかん(78)／えんとつ(78)／かいじょう
 (79)／かいだん(79)／かべ(79)／かわら(80)／きっさてん(80)／きょうしつ(80)／こうえん
 (81)／しじょう(81)／じゅうしょ(82)／しょくどう(83)／ドアー・戸(83)／とこや・りはつ
 てん(83)／としょかん(84)／にわ(85)／はか・おほか(85)／はしら(86)／ひろば(86)／プール
 (87)／ふろや(87)／へい(88)／へや(88)／べんじょ・トイレ(89)／ホテル・りょかん(90)／マ
 ーケット(91)／まど(91)／もん(92)／ゆか(92)／レストラン(93)

11. 家具・生活用品・筆記用具.....93

いす(93)／いと(94)／インク(94)／えんぴつ(95)／おけ・みずおけ(96)／かがみ(96)／かぎ
 (96)／かご(97)／かぎ(97)／かぐ(97)／かさ(98)／かばん(98)／かみ(99)／ガラス(100)／カ
 レンダー(100)／くさり(101)／くし(101)／こくばん(102)／さじ・スプーン
 (102)／じょう(102)／ほんだな・しょか(103)／すいどう(103)／すだれ(104)
 ストープ(104)／すみ(104)／石けん(105)／せんす(105)／そこ(106)／そろば
 ん(106)／たな(107)／テーブル(107)／でんきゅう(108)／でんち(108)／とけ
 い(108)／なべ(109)／なわ・ひも(110)／ねりはみがき(110)／ノート(111)／
 のり(111)／はかり(112)／はこ(113)／はさみ(113)／はし・おはし(114)／歯
 ブラシ(114)／はり(115)／はん(115)／ひきだし(116)／びん(116)／ふた
 (117)／ふで(117)／ふとん・かけぶとん・しきぶとん(118)／ふろしき(118)／
 ベッド(119)／ほうちょう・ナイフ(119)／ホース(120)／球・ボール・まり
 (120)／まき(121)／まくら(121)／マッチ(122)／むしろ・ごぎ(122)／めがね
 (123)／もの・しなもの(123)／やかん・ゆわかし(124)／わん・おわん(124)

12 生産工具・材料.....125

あみ(125)／いた(125)／うす(126)／かわ(126)／きかい(127)／くぎ(127)／く
 わ(128)／ぎいもく・き(128)／ぎいりょう・げんりょう(129)／すいしゃ

(129)/スイッチ(129)/セメント(130)/でんせん(130)/どうぐ(131)/はし
 ご(132)/ひりょう(132)/プラグ(133)/ふるい(133)/ブレーキ(133)/ポン
 プ(134)/れんが(134)

13. 人体生理.....134

あし(134)/あせ(135)/あたま(136)/い(137)/かお(137)/かっこう(138)/
 とうはつ・かみのけ・かみ(138)/からだ(139)/くち(140)/くび(141)/こし
 (141)/しんけい(141)/せいめい・いのち(142)/ち(143)/ちから(143)/つ
 ば(144)/つめ(144)/て(145)/のど(146)/は(146)/はな(147)/はら
 (147)/ひげ(148)/ひふ(148)/ほね(149)/まゆ・まゆげ(149)/みみ(150)/
 むね(150)/め(151)/ゆび(152)

14. 体育・衛生・医療.....152

うんどう・スポーツ(152)/えいせい(153)/きず(153)/くすり(154)/けんこ
 う(155)/ごみ(155)/たいいく(156)/やまい・びょうき(156)

15. 人・家族.....158

きょうだい(158)/こじん(158)/こども(159)/かてい(160)/しんせき
 (161)/ちち・ちちおや・おとうさん(161)/つま(162)/ひと(163)

16. 人の社会関係・称呼.....164

がくせい(164)/ぎちょう(165)/せいめい(166)/せんせい(166)/ともだち
 (167)/ねんれい・とし(168)/

17. 職業.....168

いしゃ(169)/ぎし(169)/きしゃ(170)/しょくぎょう・しょく(170)/つうや
 く(171)/はいゆう(172)

18. 工・農・商と生産.....172

いちば・マーケット・しじょう(172)/かいしゃ(173)/かんばん(174)/ぎん
 こう(175)/こうぎょう(175)/こうじょう(176)/しょうばい・あきない
 (177)/のうぎょう(177)

19. 社会・団体・宗教.....178

かみ・かみさま(178)/こくみん・じんみん(179)/しゃかい(180)/しゅうき
 ょう(180)/せいとう(181)/ろうどうくみあい(182)

20. 政治・法律.....182

かいぎ(183)/きそく・きまり(183)/けんりょく(184)/じゅう(184)/しゅちゅう(185)/ストライキ(186)/スローガン(186)/せいふ(186)/せいさく(187)/せいじ(187)/せかい(188)/せんそう(188)/たいど(189)/たちば(190)/ちい(190)/ちつじょ(191)/ちほう(191)/つみ(192)/デモ(192)/にんむ(193)/はた(193)/ピラ(193)へいわ(194)/ほうりつ(194)/ポスター(195)/みんしゅ(195)/めいよ(196)/めいれい(196)/やくしよ・かんちょう(196)/ろせん・コース(197)

21. 経済.....197

かんじょう(198)/ぎじゅつ(198)/きゅうりょう・ちんぎん(199)/けいかく(200)/けいぎ(200)/こうこく(201)/こうろう(202)/さいがい(202)/じぎょう(203)/じこ(203)/しごと(204)/しゅうかく(204)/しゅうにゅう(205)/しょうひん(206)/せいか(207)/せいかつ(207)/せいさん(208)/せいせき(209)/ぜに・かね(209)/たいぐう(210)/ねだん(211)/ほうしゅう(211)/りえき(212)/ようじ(212)

22. 軍事・公安.....213

かたな(213)/ぐんじ(213)/ぐんたい(214)/けいさつ(214)/さいばんしよ(215)/てき(215)/どろぼう(216)/ばくだん(217)/ピストル(217)/ぶき(218)

23. 行政.....218

いなか(218)/がいこく(219)/くに(220)/こうむ(220)/しょうたい(221)/とかい(221)/となり(222)/まち・どおり(222)/みんぞく(223)

24. 交通・通信.....224

えき(224)/きっぷ(225)/こうつう(226)/じてんしゃ(226)/じどうしゃ(227)/てがみ(229)/てつどう(230)/にもつ(230)/はし(231)/ひこうき(232)/ふね(224)/みち・どうろ(235)/ゆうびん(236)/りょこう(236)/りょひ(237)/おくりもの(237)

25. 交際.....238

かんけい(238)/しゅうかん・かんしゅう(239)/れいぎ(239)/ふうぞく(240)

26. 言語.....240

うそ(240)/がいこくご(241)/ことば(242)/テーマ(243)/たんご(243)/につき(244)/ふごう(244)/ぶんしょう(245)/ぶんぽう(246)/ほうげん(246)/もじ・じ(247)

27. 文化・教育・学問.....247
 がくもん(247)/がっこう(248)/きょういく(249)/げんこう(249)/しけん(250)/じてん(251)/じゅぎょう(252)/しゅっぱん(252)/しんぶん(253)/ちしき(254)/ちず(255)/ニュース(255)/ノート(256)/ぶんか(256)/ほん(257)/れきし(258)/りろん(259)
28. 芸術・文学・娯楽.....259
 うた(259)/え(260)/えいが(260)/おどり(261)/おもちゃ・がんぐ(262)/おんがく(263)/カード・トランプ(263)/ご(264)/しばい・げき・えんげき(265)/しゃしん(266)/しょうせつ(267)/ちょうこく(267)/ぶんがく(268)
29. 思想・感情.....269
 あいじょう(269)/いけん(269)/いみ(270)/いんしょう(271)/うたがい(271)/かながえ(272)/かんかく(272)/かんじょう(273)/かんそう(273)/きぼう(274)/きゃっかん・しゅかん(274)/きょしん(275)/けっしん(275)/こころ(275)/じしん(276)/しんねん(276)/せいしつ(277)/せいしん(277)/たとえ(278)/手はず(278)/どうさ(279)/どうとく(279)/どうり(279)/のうりょく(280)/ほうほう(280)/もんだい(281)/ゆめ(282)/りゅう(282)
30. 抽象名詞など.....283
 あやまり(283)/うん(284)/きかい(284)/きそ(285)/きょうくん(285)/くべつ(285)/けいけん(285)/けっか(286)/けってん(286)/げんいん(287)/げんそく(287)/こんきょ(288)/じじつ(288)/じじょう(289)/しっぱい(289)/しゅるい(290)/じょうきょう(290)/じょうけん(291)/しょうり(292)/すいじゅん(292)/せいこう(292)/せいのう(293)/せきにん(293)/ちょうしょ(294)/ていど(294)/とくちょう(295)/ば(295)/はたらき(296)/ひみつ(296)/ひょうめん(297)/ぶぶん(297)/ふんいき(298)/ほうほう(298)/むじゅん(299)/めんもく(299)/もくてき(300)/もくひょう(300)/もはん(300)/ようそう(301)/ようと(301)/りめん(301)/れい(302)/わけ(302)
31. 方向.....303
 いじょう(303)/いぜん(303)/しゅうい(304)/そば(304)/ふきん(304)/ほうこう(305)/ほうめん(305)